

3月24日 ヨハネによる福音書18章28～40節

説教題：「十字架」

私たちは普段、何かを体験しなければその出来事を自分に関係がある出来事として理解することが難しいものです。パウロの回心も、イエス様の受難も、私たちは聖書に書かれている以上のことを理解することは難しく、それを「自分の体験」とすることも難しいものです。私たちは生きている以上、イエス様の十字架を体験することはできません。むち打ちによって傷だらけになる背中の痛みも、十字架を背負い木の棒が肩に食い込むその重たさも、手足に打たれる釘の鋭さも流れる血の熱さも、私たちは想像することは出来ませんが、味わうことはできないのです。だからこそ、時にその十字架の深刻さを忘れてしまいそうになることがあります。

今日の個所のやり取りの後、イエス様は十字架にかけられることとなります。ヨハネ福音書では次の19章で、死刑の判決を受けてイエス様を十字架につけ、「成し遂げられた」という言葉によってイエス様は息を引き取ります。ヨハネ福音書には、「エリ、エリ、レマ、サバクタニ」「わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになったのですか」というイエス様の叫びも記されておらず、死の瞬間に雷が落ちて神殿の垂れ幕が破れることもありません。ただ淡々と、衰弱したイエス様が、静かに息を引き取る光景が記されています。手にくぎを打たれて、垂れさがる身体の重さによって呼吸が難しくなり、消え入るような声で、それでも「御心は成し遂げられた」と断言するイエス様の声は、他の福音書では熱狂した群衆の声によってかき消されていたのかもしれませんが、ヨハネ福音書の書き方を見ると、本当に罪がないのに十字架にかかったそのイエス様を見つめて、誰もが固唾をのんでその十字架を見つめていたようにも思えます。誰もが喋らず、イエス様のことを見つめていたからこそ、死の間際の小さな一言が聞こえたのではないのでしょうか。そんな、静寂の中に浮かぶ十字架の姿が、ヨハネ福音書からは見えてくるのです。

もう来週はイースターです。私たちは普段、意識をしなければ、クリスマスやイースター、ペンテコステなどの華々しいイベントに注目しすぎてしまうものです。イエス様の十字架の陰で、十字架によって信仰を守られている普段の私たちは、その姿があまりに大きく、あまりに近くにあるために、十字架のことを忘れてしまっているのかもしれませんが、それでも、イエス様の十字架は、私たちを救いに導くために、罪を贖うために掲げられた十字架は、いつも私たちと、この教会と共にあります。この十字架の重みを静かに受け止めながら、今週一週間、イースターまでのこの受難週を、共に歩んでいきましょう。

今日の説教箇所：ヨハネによる福音書 18 章 28～40 節

- ・ 28:人々は、イエスをカイアファのところから総督官邸に連れて行った。明け方であった。しかし、彼らは自分では官邸に入らなかった。汚れないで過越の食事をするためである。そこで、ピラトが彼らのところへ出て来て、「どういう罪でこの男を訴えるのか」と言った。彼らは答えて、「この男が悪いことをしていなかったら、あなたに引き渡しはしなかったでしょう」と言った。ピラトが、「あなたたちが引き取って、自分たちの律法に従って裁け」と言うと、ユダヤ人たちは、「わたしたちには、人を死刑にする権限がありません」と言った。それは、御自分がどのような死を遂げるかを示そうとして、イエスの言われた言葉が実現するためであった。そこで、ピラトはもう一度官邸に入り、イエスを呼び出して、「お前がユダヤ人の王なのか」と言った。イエスはお答えになった。「あなたは自分の考えで、そう言うのですか。それとも、ほかの者がわたしについて、あなたにそう言ったのですか。」ピラトは言い返した。「わたしはユダヤ人なのか。お前の同胞や祭司長たちが、お前をわたしに引き渡したのだ。いったい何をしたのか。」イエスはお答えになった。「わたしの国は、この世には属していない。もし、わたしの国がこの世に属していれば、わたしがユダヤ人に引き渡されないように、部下が戦ったことだろう。しかし、実際、わたしの国はこの世には属していない。」そこでピラトが、「それでは、やはり王なのか」と言うと、イエスはお答えになった。「わたしが王だとは、あなたが言っていることです。わたしは真理について証しをするために生まれ、そのためにこの世に来た。真理に属する人は皆、わたしの声を聞く。」ピラトは言った。「真理とは何か。」
- ・ ピラトは、こう言ってからもう一度、ユダヤ人たちの前に出て来て言った。「わたしはあの男に何の罪も見いだせない。ところで、過越祭にはだれか一人をあなたたちに釈放するのが慣例になっている。あのユダヤ人の王を釈放してほしいか。」すると、彼らは、「その男ではない。バラバを」と大声で言い返した。バラバは強盗であった。